

# びわこアメニティー バリアフリー 映画祭2019

2019年2月8日(金)～10日(日)  
びわ湖大津プリンスホテル  
本館2F「比叡」  
映画祭のみ:  
映画祭協力券(1プログラム)・500円

主催:バリアフリー映画研究会 共催:全国地域生活支援ネットワーク

## タイムテーブル

2/8(金) 13:00開場
14:00～16:10 「酔いがさめたら、うちに帰ろう。」 解説付き
16:40～18:20 「もうろうをいきる」 解説付き
21:20～23:30 「太陽の塔」 解説付き
2/9(土) 9:30開場
10:00～12:10 「ボクのおじさん」 解説付き(バリアフリー版ではありません)
13:00～14:40 「しがらきから吹いてくる風」
15:00～16:00 バリアフリー映画制作講座 自分でやってみよう、バリアフリー音声ガイド
16:20～18:30 「50回目のファーストキス」 解説付き(バリアフリー字幕のみ)
19:00～20:30 「ブランカとギター弾き」 解説付き
21:00～23:10 「蝶の眠り」 解説付き
2/10(日) 9:30開場
10:00～11:40 「自由と壁とヒップポップ」 解説付き(翻訳字幕のみ、バリアフリー字幕と音声ガイドはありません)

## 上映作品

\*上映作品にはバリアフリー字幕及び音声ガイドがついています。  
\*プログラムは変更になる場合があります。その際はご了承ください。

### 8日(金) 13:00開場 14:00～16:10 酔いがさめたら、うちに帰ろう。 2010年/日本/118分



戦場カメラマンとして世界の紛争地域を駆け回ってきた鴨志田穰氏による自伝的小説『酔いがさめたら、うちに帰ろう。』の映画化であり、アルコール依存症になったひとりの男と、それを支え続けた家族たちの日々を丁寧に描いたヒューマン・ストーリー。主人公の男性が、肉体的にも精神的にも「酔い」からさめた時に、帰るべき本当の「うち」としての、家族という心の居場所を見つけるまでを、まっすぐな眼差しで描く感動作。

### 16:40～18:20 もうろうをいきる 2017年/日本/91分



この作品は盲ろう者の人々をめぐる映画だが、同時に人びとは誰も皆いろいろな可能性を持ってつながっていて、そのつながりの中から常に希望の糸を紡いで暮らしていることを伝えたいと思った。人は独りではない—その瞬間をつかまえるような作品を目指して、盲ろう者と周囲の人々との関係性をまじろがずカメラで見つめた。私たちが生きていくことの原点が、盲ろうという「障害」の中につまんでいることを、この映画から発見してほしい。

### 21:20～23:30 太陽の塔 2018年/日本/英語・手帳話/112分



80年代、「芸術は爆発だ!」という言葉で、一躍世間の注目を浴びた岡本太郎。「凡人の理解を超えた変わり者」というタレントのイメージもあるが、画家・写真家・彫刻家・建築家・思想家の顔を持ち、芸術家という言葉にはとうてい収まり切らないスケールの大きな人物だ。本作では岡本太郎に影響を受けた人々をはじめ、総勢29名へのインタビューを敢行。芸術論だけでなく、社会学・考古学・民俗学・哲学の結晶としての岡本太郎が語られ、「太陽の塔」に込められたメッセージを解き明かす。

### 9日(土) 9:30開場 10:00～12:10 ボクのおじさん 2000年/日本/116分



14歳の少年の犯罪、親たちの離婚、都会と故郷、結婚しない女と男、父の不在、そしてバタフライナイフ……。2000年というミレニアムな時代のモチーフを縦横に展開しながら、通過儀礼なき今を生きている14歳の少年と、都会の生活に苛立つ29歳の叔父との交流を軸に、現代の孤独に迫る。「<父>なき時代」を描く、日本映画の新しい挑戦。記念すべき第50回のベルリン国際映画祭正式招待作品。

### 13:00～14:40 しがらきから吹いてくる風 1990年/日本/91分



信楽は狸の焼物で知られる窯業の里。この町を支えるのは、「知恵おくれ」と呼ばれる人びと。彼らは106人、町の全就労者の5%を占めるといわれ、多くは小さな家内製陶所で働く。そんな彼らのほとんどが住む「信楽青年寮」にスタッフが7ヵ月住み込んで、この映画は作られた。彼らが働く世界を決して「能力」や「能率」という視点で視ることはせず、人が人とかかわり一緒に生きている世界を記録した作品である。(1990年の、製作当時の表現のままとしています。)

### 16:20～18:30 50回目のファーストキス 2018年/日本/114分



ハワイのオフ島。ツアーガイドとして働きながら天文学の研究をしている大輔は、ある日、カフェで瑠衣という地元の女性と出会う。意気投合するふたりだったが、翌朝会った瑠衣は、大輔のことをまるで覚えていない。瑠衣は、新しい記憶が一夜でリセットされるという事故の後遺症を患っていた。そんな彼女に本気になった大輔は、毎日初対面の彼女をあの手この手で口説き落とす。ふたりは毎日恋に落ち、毎日ファーストキスをくりかえす。しかし、ふとした事件で瑠衣は自分の記憶のズレに気づき、苦しむことに。

### 19:00～20:30 ブランカとギター弾き 2015年/イタリア/タガログ語/77分



“お母さんをお金で買う”ことを思いついた孤児の少女ブランカは、ある日、盲目のギター弾きピーターと出会う。ブランカはピーターから、得意な歌でお金を稼ぐことを教わり、二人はレストランで歌う仕事を得る。ブランカの計画は順調に運ぶように見えたが、一方で、彼女の身には思いもよらぬ危険が迫っていた……。

### 21:00～23:10 蝶の眠り 2017年/日韓合作映画/日本語/112分



50代でありながらも美しく、売れっ子の女性小説家・松村涼子。作家として成功し、満ち足りた生活を送る涼子だったが、遺伝性のアルツハイマーに侵されていることを知り、人生の終焉に向き合うことを余儀なくされる。「魂の死」を迎える前に、小説を書く以外に何かをやり遂げようと、大学で講師を務め始めた涼子。ある日、大学近くの居酒屋で、韓国人の留学生チャネと出会い、涼子の執筆活動を手伝うことになる。作業を進めるうち、現実と小説の世界は混沌として交差して行き、二人は徐々に惹かれあっていくのだった。

### 10日(日) 9:30開場 10:00～11:40 自由と壁とヒップポップ 2008年/パレスチナ/アメリカ/86分



イスラエル領内パレスチナ人地区初のパレスチナ人ヒップホップ・グループ“DAM”は、占領と貧困、差別により誇りを失いかけている人々のために言葉を紡ぐ。DAMは各地のパレスチナ人ヒップホップ・グループを集めての音楽フェスを企画する。地理的、歴史的な断絶を音楽で補いあってきた彼ら。同じパレスチナ人として一緒に舞台上に立ちたいという願いは、果たして叶うのか。

## コンベンションホール 淡海 10

2月9日(土) 21:30～

Amenity Forum Special Presents

# 小室等 ナイトコンサート

出演: 小室等 (Vo.G) Hitoshi Komuro  
坂田明 (Sax.Cla) Akira Sakata  
谷川賢作 (Piano) Kensaku Tanikawa  
竹田裕美子 (Acc) Yumiko Takeda  
こむろゆい (Vo.Uke) Yui Komuro  
川辺ぺっぺい (Bass) Peppi Kawabe  
中村岳 (Per) Gaku Nakamura



小室等



坂田明



谷川賢作



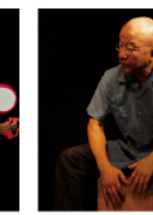
竹田裕美子



こむろゆい



川辺ぺっぺい



中村岳

福島智が作詞作曲した  
作品を発表

スペシャルプログラムが実現!  
光と音のない世界から  
音楽が生まれる

福島智 (東京大学先端科学技術研究センター教授)